

山路智恵絵手紙美術館

Tomoe Yamaji's ETEGAMI Museum



2011年 栄村にて (180×90cm)

2013年 山路智恵絵手紙美術館企画展

「宝さがし 栄村」



2012年 野沢温泉村にて (63×91cm)

今年から館長をお引き受けすることになりました。栄村を拠点に創作活動をしていく予定です。2013年の企画展のテーマは『宝さがし 栄村』。私も栄村で四季を感じ自然とふれあいながら、もつともつかけがえのない出会いを絵手紙にかいていこうと思っています。皆さんも一緒に栄村の魅力を探してみませんか。絵手紙をかいて感動体験を人に伝えながら、栄村の復興を応援して下さい。笑顔あふれる栄村での時間が、宝もののように輝きますように…

山路 智恵

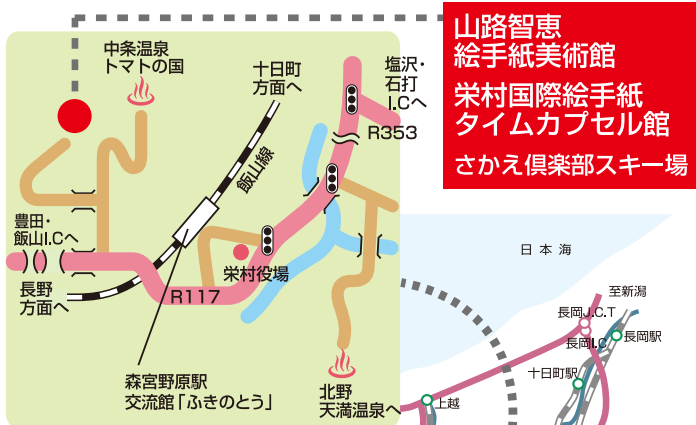
山路智恵さんと「絵手紙のむら栄村」ヒストリー

- ◎1994年、小学校入学からかき続けた絵手紙が連続2000日を達成。その記念として「なんなんなん」と2000日展（東京・大崎ウエストギャラリー）が開催された。それを見て感激した栄村の公社職員がこの感動をぜひ栄村のみんなにも」と山路智恵絵手紙展の企画を栄村に持ち込む。
- ◎1995年、栄村に展覧会実行員が立ち上がる。現実的には難しいと思われていた展覧会の開催に向けて村民有志が力を合わせて実現。人口わずか2900人（当時）の小さな山里に、なんと1万2000人もの人が訪れるという驚くべき反響を呼んだ。
- ◎1996年、山路智恵絵手紙展の大成で盛り上がった栄村はその後全国公募展『小ぢやなしあわせ展』を開催。1万2500通もの絵手紙が寄せられる。
- ◎長野オリンピックを2年後に控えたこの年、絵手紙でオリンピックに参加しようという動きが、「絵手紙でなら誰でもオリンピックに参加できる！絵手紙で世界をつなごう！」という熱意は揺るがず、文化プログラムとして参加を申請。97年、めでたく正式認可を受ける。
- ◎1998年、『絵手紙世界展』（絵手紙オリンピック）開催。地道な努力が実を結び、応募総数は8万枚をこえ、海外からも2万2000通もの絵手紙が届く。栄村民のなかから大勢のボランティアが参加し、村民の手でひとつひとつの絵手紙が展示された。
- ◎2002年、日中友好30周年記念行事「10万通日中絵手紙展」を日本絵手紙協会と中国蘇州市と共催。
- ◎2004年、森宮野原駅交流館オープン記念として山路智恵絵手紙展『再会のさくら展』を開催。
- ◎その後、蘇州市・日本絵手紙協会主催の各絵手紙展企画に参加し、村内で展示。蘇州市使節団が来村するなど、中国との交流を深める。
- ◎2007年7月、ついに栄村に、日本絵手紙協会の活動を通して寄せられたすべての絵手紙を収蔵する『栄村国際絵手紙タイムカプセル館』が、そして『絵手紙のむら栄村』のきっかけを作ってくれた山路智恵さんの絵手紙美術館が誕生。
- ◎2008年、北京オリンピック公式認可事業として絵手紙が採用される。同時に、北京で山路智恵絵手紙展『愛は国境を越えて』が開催され、反響を呼ぶ。
- ◎2011年3月12日、長野県北部地震が発生し、震度6強を観測。栄村に甚大な被害をもたらすが、2012年4月、震災からの復興を掲げ、山路智恵絵手紙美術館と栄村国際絵手紙タイムカプセル館が一年ぶりに営業を再開。
- ◎2013年4月、栄村民からの強い要望をうけて、山路智恵さんが山路智恵絵手紙美術館・館長に就任。

山路智恵絵手紙美術館 Tomoe Yamaji's ETEGAMI Museum

◎美術館のご案内

- 開館時間/午前10時～午後5時(入館は閉館の30分前)
- 休館日/毎週火曜日(ただし祝日は営業)、冬期休業(12月～4月中旬)
- 入館料/山路智恵絵手紙美術館、タイムカプセル館 共通券 800円
※団体割引 10名以上200円引 ※障害者割引 300円引
- 交通/最寄駅・J R 飯山線「森宮野原」、森宮野原駅よりタクシー 5分



**山路智恵
絵手紙美術館**
**栄村国際絵手紙
タイムカプセル館**
さかえ倶楽部スキー場

続けることの大切さを教えてくれる

2007年に長野県栄村の広大な自然の中に作られた、山路智恵絵手紙美術館。

本館では毎年異なったテーマの企画展を、タイムカプセル館展示室では山路智恵さんが小学校のころにかいた絵手紙を中心に展示しています。

小学校入学の日から6年間、1日も休まず絵手紙を小池邦夫氏に送り続けた山路さん。絵手紙を始めてから、中学、高校、大学そして現在と成長の過程をたどることで、山路智恵の絵手紙世界に引き込まれることは間違いありません。

現在は、中国をはじめとする国際的な活躍もめざましい山路さんの絵手紙をぜひご覧ください。

山路智恵(やまじ・ともえ)

1981年東京生まれ。仕事を持つ母が子どもとの思い出作りにと絵本の読み聞かせから始まった絵手紙は、小学校入学式の日から一日も休まず小池邦夫氏宛に投函。小学6年生の9月には連続2000日を達成。2003年に大学を卒業し、現在も絵手紙をかき続けている。



絵手紙親善大使として米国、ルクセンブルク、中国での個展をはじめ、日本各地で展示会を開催。1993年には「小川未明文学賞特別賞」を受賞。著書に「いい春しょって2000日」「一片の詩にほほよせて」などがある。

2013年4月、山路智恵絵手紙美術館・館長に就任。



2005年 (各 160×75cm)



1994年 (32.5×145cm)

アクセス MAP



東京	上越新幹線	越後湯沢	南越後観光バス「森宮野原」行(約60分)	森宮野原(最寄駅)
			ほくほく線	十日町
	長野新幹線	長野		飯山線
名古屋	特急しなの	長野		飯山線
新潟	上越線	越後川口		飯山線



1994年 中学1年生 (66×52cm)



1993年 小学6年生 (66×50cm)

◎本館(企画展会場)
さかえ倶楽部スキー場に隣接した本館。置4畳分の大作もあり、その迫力に圧倒される。



◎タイムカプセル館展示室
(常設展会場)
山路さんが小学生のころにかいた絵手紙を中心に展示。

〒389-2702 長野県下水内郡栄村北信2503

TEL 0269-87-1920/FAX 0120-5562-03

URL: <http://www.etegami-goods.co.jp>

※宿泊・観光・交通のお問合せもお気軽にどうぞ